

今日、急速な少子高齢化の進展や地域における連帯感の希薄化等に伴い、住民の福祉に対するニーズは、より複雑・多様化しています。

誰もが地域社会の一員として、安心して健やかに暮らすことができる社会の実現に向けて、住民相互による日常的な見守りや交流、支え合いとともに、ボランティア・市民活動を進める機会や団体が協働し、地域に即した効果的な取組みを推進する必要があります。

そこで県社協では、本年度から県内の地域福祉の活動を支援するため、「みんなですすめる地域の福祉助成事業」をスタートいたしました。

今回の特集では、この助成事業を実施しているいくつかの活動事例を紹介いたします。

安心して健やかに暮らせる社会の実現へ



とくしま福祉広報
180号
december.2014

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
e-mail: info@e-fukushi.jp http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/



みんなですすめる
地域の福祉

平成26年度 助成23団体

- ・ Music あわrs
- ・ 勝浦町婦人会
- ・ 徳島県シルバー大学校小松島校OB会
- ・ (福) 吉野川市社会福祉協議会
- ・ 阿南市長生地区社会福祉協議会
- ・ (福) 阿波市社会福祉協議会
- ・ (福) サンシティあい
- ・ ねたきりになら連実行委員会
- ・ 徳島県ホームヘルパー協議会
- ・ つるぎ町ボランティアセンター運営委員会
- ・ (特非) うだつコミュニティスポーツクラブ
- ・ (特非) 徳島防災ネットワーク
- ・ (財) 徳島県母子寡婦福祉連合会
- ・ (特非) 川塾
- ・ (特非) ホワイトベースとくしま
- ・ (特非) You&ゆう
- ・ (特非) ほっこりタイム
- ・ (特非) 徳島県ボランティア協議会
- ・ えがお+for kids sports
- ・ あたらしくとくしま
- ・ あすなる作業所支援ボランティア
- ・ 羽ノ浦保育士太鼓グループ「どんと太鼓」
- ・ 海陽町児童青少年を支援する会

RIPPLE リプルとは、波紋のことです。

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。



ボランティア・NPOの情報紙
29号 december.2014

とくしま県民活動プラザ
770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリナービル1F
tel:088-664-8211 fax:088-664-5345
e-mail:info@plaza-tokushima.com
http://www.plaza-tokushima.com
http://www.tokuvc.jp



マスコットキャラクター プララ

「子どもが生き生きとはたらくまち」

ぶらざタウン

平成26年8月17日(日)
沖洲マリナービル



ひと29号 december.2014 CONTENTS

特集 「子どもが生き生きとはたらくまち」ぶらざタウン
みんなですすめる地域の福祉助成事業

ひと 希望の光
オーティの会 会長 浜田 正子さん

シリーズ・このひとから
ええもん市場 平尾 富生さん
児童とのふれあいスクールボランティアを通して
松茂町社協 盛 義範さん

連載 [福祉教育いろは塾] 福祉教育の実践
日本福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科
准教授 野尻 紀恵さん

ハートリレー
No.29 長谷川さんから黒田さんへ

New face
NPO 法人れんこん研究会 竹村 昇さん

NPO法人 ほっとハウス



- Q.1 フェルトを使ったマグネット作り。
- Q.2 針と糸をびっくりするほど上手に使用、ステキな作品ができあがりました。

社会福祉法人カリヨン れもん



- Q.1 移動スーパー「みまもりレモン」内での、お菓子、ジュース、アイスクリームの販売。
- Q.2 積極的な子どもや、消極的な子どもたちがいる中で、最後は自信をもって終了できたことがよかったと思う。今回の経験を、今後の生活に少しでも役立ててくれたら、うれしいです。



徳島県社会福祉協議会 とくしまボランティア推進センター



- Q.1 参加団体への取材を行い、ぶらざタウン新聞の発行やステージ発表の運営を行いました。
- Q.2 一生懸命メモを取りながら、目を輝かせ取材をする子どもたちをみて、子どもも大人も、役割や目標を持つと、イキイキ笑顔になれると感じました。

NPO法人 精神保健ボランティア ハート・とくしま



- Q.1 焼き菓子やねぎ焼の調理、芋の販売。
- Q.2 暑い中、がんばって、ねぎ焼作りをしてくれてありがとう。販売も笑顔でしてくれてよかったです。

徳島市教育委員会 (高校生ボランティア)



- Q.1 NPO団体さん、ボランティア団体さんの活動をお手伝い。
- Q.2 様々なボランティア活動を知ることができ、子どもたちと一緒に紙芝居やダンスができて楽しかったです。

NPO法人 眉山大学



- Q.1 藍のたたき染め、書道を体験しました。
- Q.2 工夫しながら、藍染めと格闘している姿がかわいかったです。

ぶらざ 徳島県消費者情報センター



- Q.1 悪質商法にだまされないように呼びかける活動。
- Q.2 ロールプレイや替え歌など、キッズ隊員として立派に任務を果たしてくれました。貯金箱づくりも楽しんでくれました。

ぶらざタウン

NPO法人 グリーンボード徳島



- Q.1 ごみ分別ブースの設置と、子どもたちへのごみ分別の啓発。
- Q.2 団体や活動の意図を説明すると、積極的に活動に参加してくれました。子どもの時から、ごみ分別への啓発が必要だと感じました。

NPO法人 藍住町手をつなぐ育成会



- Q.1 キッサ店の店員になって、ジュースを販売したよ!
- Q.2 仕事を通して、子どもたちが楽しくイキイキとした表情でお客さんに接することができていて、達成感溢れる笑顔が印象的でした。

徳島市市民活力開発センター



- Q.1 2Fのステージでの音響の打合せと、実際に操作をしました。
- Q.2 子どもたちに、自分たちの仕事を体験してもらえてよかったです。

「ぶらざタウン」は、子どもたちがNPOやボランティア活動を行っている専門家から仕事を教わり、生き生きとはたらく「まち」です。子どもたちと参加団体が協力しながら活動を通して「まち」をつくり社会貢献活動の重要性を学んでいきます。

今回の特集では、「ぶらざタウン」で子どもたちの仕事を支えた18団体のみなさんに、「達成感あふれた表情」や「真剣にはたらく姿」などにふれた驚きや想いをお聞きしました。

- Q.1 ぶらざタウンでの活動内容
- Q.2 子どもたちと活動した感想



えがお+for kids sports



- Q.1 えがお+for kids sportsの活動目的や活動の紹介。「すだちくんダンス」をレクチャー(伝えるポイント、踊り練習)。
- Q.2 短時間で団体の紹介やダンスを発表することは大人でもなかなか難しいですが、役割をしっかりと果たし、本番でしっかり発表できた姿に感動しました。

NPO法人 ヒューマンライツ文化・福祉ネットワーク



- Q.1 「ちりめんmonsterをさがせ〜生き物の多様性に気づこう〜」ちりめんじゃこの世界に生きる生物の多様性の発見とおして、ともに生きること、人権について考える視野を広げる活動。
- Q.2 「生き物の多様性の気づき」に加え、レア生物「たつのおとしご(体長2cm)」の発見を目指し、大人も子どもも夢中になり、世代を超えて楽しんで思い出の1日になりました。

紙芝居ボランティア「おしゃべりくまさん」



- Q.1 小学生(高校生)が紙芝居ボランティア「おしゃべりくまさん」の一員になって、紙芝居、手遊び、口上を実際にやっていたきました。
- Q.2 子どもたちののみ込みの早さにびっくりしました。また、「元気」をいっぱいもらいました。

徳島マリンピア ライオンズクラブ



- Q.1 ぶらざタウンとして、現金とぶらざ紙幣との換金業務をしました。
- Q.2 子どもたちがイキイキと楽しく、そして真剣に働く姿に接し、改めて仕事をするという重要性を教えてもらいました。

NPO法人全国邦楽合奏協会



- Q.1 和楽器のすばらしさ、合奏の楽しさを広く発信しました。
- Q.2 和楽器を身近に感じてもらい、みんなで心をひとつにして、楽しく合奏ができました。

NPO法人 日本防災士会 徳島県支部



- Q.1 主として、ロープワークを実施。その中で、当支部会員が自作したペットボトルを利用した、救命浮きを海に投げ入れる体験もしました。
- Q.2 海への投げ入れは、大人が体験しても面白かったと思います。

徳島もりあげ隊ビバ!!



- Q.1 食べ物屋台の出店体験。子どもたちは、かき氷、鶏のから揚げ、イモの天ぷらを選びました。
- Q.2 から揚げを大量に作っている子が、「これ、すっごくおもしろい!!」と満面の笑み。1人前の役割を担って、仕事をする喜びを感じることができたようです。

四国栄養学生団体 Nuways



- Q.1 野菜に親しんでもらうため野菜のピューレが入った彩り豊かな野菜ドーナッツを作りました。子どもたちに食の大切さ、楽しさを知ってもらえるような活動をしました。
- Q.2 調理から販売まで一生懸命な子どもたちの姿を見ることができました。ドーナッツは彩り豊かで、野菜の味を抑えたものだったので、子どもたちも抵抗なくおいしそうに食べていました。

ぶらざタウン事務局 とくしま県民活動プラザ

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
TEL: 088-664-8211
FAX: 088-664-5345
Mail: info@plaza-tokushima.com



希望の光



今回の“ひと”はオーティの会会長浜田正子さんにお話を伺いました。

オーティの会とは、自閉スペクトラム症（高機能自閉症及びアスペルガー症候群）と診断された子どもを持つ保護者の集まりです。

オーティの会では、保護者の仲間づくりの場として会員外でも参加できる茶話会や勉強会のほかに、会員を対象にした子ども活動、就学前の子どもを持つ保護者対象のペアレントトレーニング（ペアトレ）を取り入れています。ペアトレとは、仲間と一緒に考えることで異なる視点からの意見を聞くことができ、それまでは困っていた子どもの行動への見方が変化することで、前向きな関わりが増えるようになることを目的とするものです。

そして、発達障がいの子どもの持つ保護者同士、気兼ねなく子どもの状態を話せる仲間がいることはとても重要なことだと、ご自身のことを振り返りながら話してくれました。

また、オーティの会が就学前の子どもを持つ親を対象をしばったのは、就学に不安を抱えがちなお母さんが、希望を持って学校生活を迎えるために大切な時期であるという思いがあるからです。

「小学校楽しみやな！と親が子どもに言えるようになるとうれしい」という浜田さんの言葉を聞いて、当たり前と言えない状況になってしまうことがあると知り、胸が詰まる思いになりました。

「私は回り道が多かったのですが、悩みを一人で抱え込まずに周囲と連携をして、いい方に頑張ってもらえれば」と若い保護者への思いも話してくれました。

ご自身が体験された辛かったことや不安だったこと、また、そこから学んだことなどたくさんを乗り越えてきた浜田さんだからこそ、その経験を今の活動に活かすことができ、同じ悩みを持つ保護者の力になるのだと思いました。

これからの活動について何うと、今のまま継続していきながら、社会への理解を広めていきたいとお話ししてくださいました。



オーティの会

会長 はまだ まさこ 浜田 正子さん

URL <http://auti.sakura.ne.jp/>
E-mail faq@auti.sakura.ne.jp
活動ブログ
<http://auti2010.blog104.fc2.com/>

シリーズ・このひとから

地元の宝で地域をひとつに

地域の「ええもん」が集まる場所に

ええもん市場
代表 ひらお とみお 平尾 富生

私たち「ええもん市場」は、誰もが良い農作物を出荷でき、良好な商品を皆さんにお届けするとともに、地域の活性化に少しでもお役に立てればという思いを持って活動しています。

特に、栽培方法にこだわった地域の特産品「ええもん」を集め販売しています。夏場に果樹畑全体にシートをかけ、木にストレスを与えることで甘味を増した三野町特産のみかん「はれひめ」、栽培の終わった秋頃から有機肥料を投入し、最高の土により甘さを引き出したつぎ町半田の「西瓜」、水の丸地区で高冷地栽培を行うことにより、一年中おいしい東みよし町の「いちご」などです。また、香川県伊吹島の網元直送の新鮮な魚やワタリガニも

販売しています。

これらの「ええもん」を地域特産品としてブランド化し、県外の方々にも届けていきたいと考えています。また、高齢の方々からの電話注文による訪問販売にも広がっていくと取り組んでいます。

当店があるJR江口駅周辺は人気も少なく、夜には真っ暗になってしまうので私たちが常時店にいて、地域の学生さんが安心して通学するための一助にもなっていると思います。毎月第二日曜日には、餅つきや阿波踊りなどのイベントを行っています。駅周辺のみなさんにも参加していただき、昔のにぎやかさを取り戻しつつあります。



「ええもん市場」

住所：徳島県三好郡東みよし町
19-1 (JR江口駅前)

電話：0883-87-8678

営業時間：9：00～18：00

定休日：毎週月曜日

※有機肥料を使い、減農薬に努めて栽培したお米を、三好長慶にちなみ「長慶の郷米」として販売しています。



児童とのふれあい～スクールボランティアを通して～

もり よしのり
松茂町社会福祉協議会 主事 盛 義範

私が松茂町社会福祉協議会職員となったと同時に、ボランティアを担当して、十数年が経ちました。初心者の頃は、研修会等に出席しても始終緊張し、各市町村社協での取り組みの話や議論をしているのを「すごいな～」と思いながら聞いていたことを今でも覚えています。それから十年余り年月が流れた現在、年齢を重ねただけで、目立った取り組みができていないと日々反省しつつ、他の市町村社協の事業を見聞きする度に、頭が下がる思いをしています。

松茂町社会福祉協議会が事務局をしているボランティアグループの1つの活動を取り上げたいと思います。

今回、ご紹介するのは、小学校の授業のスクールボランティアです。この活動は、小学5年生と6年生の家庭科の授業でミシンを使用する単元があり、その授業の補助をします。どちらの学年も児童を約5名ずつ5～6組に分けて、1組に1名のボランティアさんが付いてアドバイスします。

5年生は授業でミシンを使います。ほとんどの児童が、家でも見たことがないという状態で、糸のかけ方から始まり、空縫いで感覚を知ったら、直進、方向を変える、返し縫いなどを1人ずつ教えていきます。

6年生は、エプロンなどの製作を手伝います。製作する中で難しい作業があり、悪戦苦闘する児童にアドバイスなどをします。

私もボランティアさんに同行し授業の見学をしています。写真を撮りながら、ボランティアさんの手際の良さに「さすがだな～」と、いつも感心しています。

また、児童もボランティアさんも楽しそうで、授業が終わった後、ボランティアさんからも「楽しかった～」と聞きます。特に、今年は児童から「こまごまと教えてくれてありがとうございます」とお礼を言われたそうで、その言い回しが可笑しかったとおっしゃっていました。



エプロンを製作する6年生とアドバイスするボランティア



ミシンの練習をする5年生とサポートするボランティア

「第10回とくしまNPOボランティアフェア」

11月3日(月・祝)徳島市新町川水際公園において「3世代でNPO・ボランティア体験をしよう!」をテーマに、参加34団体、29のブース、10のステージ発表で開催しました。天気にも恵まれ、パネル展示やステージ発表による団体の活動紹介、活動により作成された物品の販売、活動の体験コーナーなどによる各団体のPRを行いました。

また、初の試みとして実施した、小学生以下の子ども向けの活動体験やクイズに答えるのスタンプラリー、3世代での来場者へのひょうたん島クルーズ乗船券のプレゼントも好評で、幅広い年代の方々に、徳島で活躍するNPO・ボランティア団体の活動を知っていただく秋の1日となりました。



ご
あ
ざ
い
が
ま
す
う

預託 ●徳島県阿波牛販売推進協議会様、徳島県食肉荷受株式会社様より、県内児童養護施設7ヶ所へ阿波牛肉のご寄贈 ●あいおいニッセイ同和損害保険株式会社徳島支店様より、三好市社会福祉協議会へ、車椅子のご寄贈 ●公益財団法人徳島県文化振興財団様より、県内社会福祉施設へ、第17回阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバルへのご招待、県内児童養護施設、児童自立支援施設へ、とくしま記念オーケストラ第3回定期演奏会のご招待 ●公益財団法人徳島県生活衛生営業指導センター様より、障害者支援施設板東の丘へ、そば打ち体験と試食、特別養護老人ホーム青葉荘へ、にぎり寿司体験と試食のご提供 ●損害保険ジャパン日本興亜株式会社・AIRオートクラブ徳島支部様より、特別養護老人ホーム上板おおば苑へ、車椅子整備・清掃のご提供 ●あすたむらんど徳島指定管理者(株)ネオビエント様より、県内社会福祉協議会4ヶ所へ、出張講座のご提供 ●四国電気保安協会労働組合徳島県支部様より、特別養護老人ホーム穂波園へ、車椅子のご寄贈

寄付 ●一般財団法人徳島県民間福祉施設職員共済会様 ●徳島県商工会青年部連合会様 ●NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド様

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成26年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

補償金額 (保険金額)

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
賠償責任	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円 (限度額)	5億円 (限度額)

年間保険料

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ*		460円	690円

*天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをした。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあった。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこぼした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

●お申込み、詳しい内容のお問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社
TEL:03(3593)6245

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

イベントガイド

平成26年度 災害ボランティア講座

8月の台風11号・12号接近に伴う豪雨災害を踏まえ、災害時のボランティア活動等への理解や平時からの備えや取り組みについて考え、防災意識の向上へと繋げていくことを目的に開催します。

日時:平成27年1月16日(金)14:30~16:00

場所:徳島県立防災センター
板野郡北島町鯛浜字大西165
TEL.088-683-2100

参加対象:災害時のボランティア活動等に興味のある方(定員80名)

問い合わせ先:徳島県社会福祉協議会
とくしまボランティア推進センター TEL.088-664-8211



ほっこりマルシェ 第10回 イベントのお知らせ

NPO法人ほっこりタイムさんが北島町アクアプラザの指定管理を受けて活動されている「ほっこりマルシェ」でのイベントをご紹介します。

日時:平成27年1月18日(日)9:00~15:00

場所:ほっこりマルシェ
(板野郡北島町高房字百居内40-13)

内容:9時~笑いヨガ
10時~フリーマーケット
ギターライブ
誕生日占い
おさがり交換会
新鮮野菜販売 etc.



※フリーマーケット・ライブ 出店・出場者募集(無料)

問い合わせ先:NPO法人ほっこりタイム 代表 乾ハルヨ
TEL.088-635-1206

福祉就職フェア2015の開催

平成28年3月に大学・専門学校等を卒業予定の学生を対象に、就職相談会を開催します。すぐ応募可能な求人もごございますので、興味のある方はぜひ御参加ください!

日時:平成27年3月14日(土)13:00~16:00

場所:阿波観光ホテル
問い合わせ先:徳島県社会福祉協議会 福祉人材センターアイネット
TEL.088-625-2040 FAX.088-656-1173

平成26年徳島県台風11号・12号災害義援金の配分について

台風11号・12号被害により被災された方々を支援するため、募集していただきました義援金の総額は、2110件、47,827,984円となりました。皆様から、たくさんの温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。被災者へは自治体(市町)を通じて届けられます。

「成人歯科健診を推進しています」

一般社団法人
徳島県歯科医師会
徳島市北田宮1-8-65
電話 088-631-3977

ホームページ



ハートリレー

No.29 長谷川さんから黒田さんへ



NPO法人 徳島ツーリズム協会 代表理事
くろだ ただし
黒田 忠良さん

観光とラジオで活躍中!!

黒田忠良さんをご紹介します。黒田さんの姿を見たことが無くても、車に乗っている時に彼の声を聞いたことがあるのではないでしょうか。私も黒田さんとの出会いは、ドライブ中のラジオからでした。そうです、ラジオパーソナリティとしても活躍の黒田さんは、徳島の顔(声!?)と言っても過言ではありません。

時おり近所の喫茶店でばったり会うことがあるのですが、ランチをしながら話をするのは、地域活動のことや徳島の未来についてなど、黒田さんの徳島愛を感じられることばかりです。

そして近年は、徳島の観光分野で多大な貢献をされています。観光ボランティアの育成に力を注がれたり、NPO法人徳島ツーリズム協会を設立し、旅行業から徳島の活性化に尽力されています。私も個人的に県外から徳島にきている身ですし、また旅行が趣味なので徳島ツーリズム協会さんの動向には注目しています。

社会貢献活動の中でも華のある観光分野。今後も徳島での活躍を期待したいと思います。

NPO法人眉山大学
はせがわ しんり
文・長谷川晋理





NPO法人 れんこん研究会

理事長 竹村 昇 さん

設立について

NPO法人れんこん研究会は、耕作放棄地の再生や集積、農作業の受託と農業ヘルパーのあっせん、新品種や加工品の開発、栽培技術の向上に関する調査研究・現場実習などを行うために、昨年9月に設立されました。

現在の主な活動とこれからのビジョン

専門的な栽培のノウハウを伝えたり研究するほか、一般向けには、れんこん畑での収穫体験、鳴門市瀬戸町の島田島では古代ハスの花を休耕地に植えて観光地にする活動も行っています。

会員は10歳代～60歳台と幅広く、れんこん農家を中心に、れんこんを食べるのが好きな方や花が好きな方、将来、れんこん農家になりたいと考え今から勉強してみたい方、れんこんの情報を探している方など、誰でも会員になることができます。平成26年度には、とくしま県民活動プラザからも、ゆめバンクとくしまを通じて現地を整備するための支援を行いました。活動を見てみたい方、参加したい方は、事務局の澤田さんまでお問い合わせください。



(地元の方と研究するメンバー)



(収穫体験)

NPO法人 れんこん 研究会

設立年月日・法人格取得年月日/2013年9月20日
〒776-0013 吉野川市鳴島町上下島373番地1
TEL:080-7068-0100 FAX:020-4669-3715
E-mail:master@renkon.or.jp
URL:http://renkon.or.jp/

編集後記

早いもので今年もう師走の風が聞こえています。どうか風邪にご用心を！さて、ボランティアといえば「清掃」「ゴミ拾い」が、私のプラザでの経験でした。が、納得いかないもの、「清掃ボランティア」であります。なぜなら《捨てる者》がいるから必要となるのであり、結局は社会貢献の一方で、《捨てる者》を助長しているのでは、それとも私にボランティアとしての「寛容さ」が欠けているのか・・・、などとプラザでの仕事もあとわずかとなった私にとって、結局、いまだにそして今後も解答の見込みのないテーマとなってしまったようです。(掛尾)

とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は(認定特非)とくしま県民活動プラザと(社福)徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

4つの機能で応援

1.情報収集・提供
団体のチラシや会報、活動がわかる情報を広く発信。また、企業・行政の助成金・各種研修会などの情報や関連図書・ビデオも収集しています。(ホームページ、広報誌、図書コーナー、団体情報、各種助成情報)

2.活動・交流の場
グループでの会議や活動のPRに必要なチラシやポスターなどの作成のため設備を整えています。(ミーティングコーナー、会議室、パソコン、コピー機、作業室)

3.相談・支援
ボランティア・NPOに関する質問・ご相談にお応えします。

4.人材育成・研修
団体が力をつけるための研修会やイベントを実施します。(各種講座、ぶらざタウン、NPO・ボランティアフェア)

●プラザ開館時間
開館時間:10:00~18:00
【研修室利用時間】
火曜日~土曜日:10:00~21:00
日・祝日:10:00~18:00
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始



●公共交通機関をご利用の場合●
JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ
・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

福祉教育 いろは塾

本年7月、日本の「子どもの貧困率」は16.3%であると厚生労働省が発表しました。昨年度は子どもの貧困対策推進法、今年度には生活困窮者自立支援法ができ、特に「子どもの貧困」に対しては国をあげて取り組み姿勢を示したにも関わらず、「子どもの貧困率」が過去最高になったことに多くの人がショックを受けました。そして、貧困の連鎖にも注目が集まり、「子どもの貧困」への学習支援の必要性がますます強調されています。

しかし、子どもの貧困やその連鎖は、子どものエンパワーメントなくしては解決に向かうことはできないのです。エンパワーメントとは、人が自分の人生の主人公となるように力をつけ、生活や環境を自分自身でコントロールできるようにしていくことだからです。エンパワーメントは、指導や訓練によって力をつけることではありません。本人が本来もっているのに様々な制約によって発揮されていなかった力を、本人が発揮できるようにすることです。



試作品作り

ある高校での福祉教育の取り組みを紹介します。2年生の就職コースの生徒達が、地域の小規模作業所の新商品を開発するといふものです。生徒達は作業所で作られてきた製品を理解した上で、自分で新商品にしたいものを試作品にし、作業所メンバーの前でプレゼンします。40程あるグループのプレゼンの中から優れているチームが2つ選ばれ、実際に商品になります。



新商品(茶碗蒸し器)



新商品(メッセージボード)

た。地域の祭や文化祭などでその商品は完売しました。この時、選ばれたチームに場面緘黙(かんもく)の女子が一人いました。家庭以外では声を出すことのなかった生徒ですが、この取り組みでの作業所の方々との交流の中で、表情が生きてきました。また、プレゼンでは自分の役割を見事に果たし、商品を売る場面でも「いらっしやいませ」と声が出ていたのです。彼女のご家庭は経済的に苦しく、高校卒業後は就職することを希望していましたが、就職は難しいだろうと誰もが心配していました。

福祉教育と子どもの貧困 エンパワーメントに着目して

日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 野尻 紀恵

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人 徳島県医師会
会長 川島 周
【仮事務所】徳島市住吉4丁目11-10
TEL 088-622-0264

CLE NUP 吉野川をきれいに! 参加団体、募集中。
吉野川交流推進会議
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
徳島県東サービスセンター内
TEL 088-621-2743
FAX 088-621-2822
E-mail office@yoshinogawa.org
http://www.yoshinogawa.org

これからも、いつまでも 頼りがいのある銀行として、 地域のみなさまとともに歩んでまいります。
阿波銀行
みなさまの「こころ」のメインバンクへ
http://www.awabank.co.jp/

環境にやさしい銀行を目指し 環境保全活動に取り組んでいます。
徳島銀行
http://www.tokugin.co.jp

「小松島おもちゃ病院」ドクター養成講座

徳島県シルバー大学校小松島OB会は、子どもたちの壊れたおもちゃを修理することで、子どもたちに物の大切さを教えるとともに交流を図ることを目的に、平成25年9月に県内3つ目となる「小松島おもちゃ病院」を開院し、ボランティア活動を行っています。



おもちゃの部品を修理中

本年度、シルバー大学OB会員以外にもボランティアに興味のある方を対象に「おもちゃドクター養成講座」を、平成26年7月26日・27日の両日にわたって開催しました。25名の参加者は、日本おもちゃ病院協会から派遣された講師から、おもちゃ修理の指導を受け、小松島地区内に多数のおもちゃド

次回開院
予定は
1月11日(日)
です!



クターが誕生しました。新しいおもちゃドクターは「おもちゃの修理を通して、人とのつながりや喜びと生きがいを感じる事ができる。」とこれからのボランティア活動へ意欲的です。修了者は、徳島・藍住・小松島「おもちゃ病院」で、インターンとしての活動を始めています。活動場所が県内各地へ拡大され、おもちゃドクターによるボランティア活動の広がりが期待されます。



●詳しくは
徳島県社会福祉協議会の
ホームページでご確認ください
<http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/>

みんなですすめる地域の福祉助成事業

地域に根ざした福祉に関する取り組みや大規模災害等に備えるための事業に助成を行うことにより、地域福祉の振興を図ることを目指して、助成事業を創設しました。

阿波市「福祉でまちづくり講演会」

平成26年11月19日(水)に、「福祉でまちづくり講演会」が開催され、公益財団法人テクノエイド協会理事長・東北福祉大学大学院教授の大橋謙策氏より、「市町村主権時代における地域自立生活支援のあり方を考える～住民と行政の協働による福祉でまちづくり～」と題して、ご講演をいただきました。

地域における家族形態の変化等により親族・近隣同士での支え合いが希薄になる中、社会福祉協議会は住民と行政・NPO法人等の関係機関と協働しつつ福祉のまちづくりを進めていくことがより一層求められます。

講師からの「あなたの老後は誰が看るのか」との問いに、参加者は自分自身の福祉課題について考える良い機会となりました。

来年度、8月1日(土)、2日(日)



大橋謙策講師の講演

に阿波市にて今後の福祉をより豊かに推進することを目的とした「第13回四国地域福祉実践セミナー・第19回こんぴら地域福祉セミナー」が開催されます。ぜひご参加ください。



美馬市

「三世代交流グラウンドゴルフ大会」

今後、ますます高齢化が進む状況のなかで、NPO法人うだつコミュニティスポーツクラブでは、これまで高齢者を対象とした様々な活動を実施してきました。

地域の活性化を図るため、高齢者のみではなく三世代で共に取り組むことで将来の地域づくりに向けて「三世代交流グラウンドゴルフ大会」を開催しました。

今回、親子で参加されるなど約60名の参加がありました。三世代が取り組んだ事により「高



齢者を敬う機会」となり、高齢者にとっても、「若い世代の活力」を感じる機会となりました。そして、三世代がともに楽しい時間を過ごすことができました。

会長の佐藤達郎さんは、「今後は三世代を巻き込んだ活動のほか、障がいのある方とともに行う事業にも取り組んでいきたい。これからは高齢者だけでなく、地域に住むみんなでスポーツをともしに行い、将来の町づくりに寄与したい。」と熱心に語られていました。



平成26年10月19日
天候に恵まれ開催



つるぎ町「傾聴ボランティア養成講座」

つるぎ町ボランティアセンター運営委員会と、つるぎ町社会福祉協議会による、初めての取り組みとして、平成26年度傾聴ボランティア養成講座が10月17日、24日、31日の3回シリーズで実施しました。

傾聴とは、「相手の言いたいことと、伝えたいこと」に耳を傾けて聴くことであり、相手が「話す」ことを通じて、満足感・充実感が得られるきっかけを作り出す手法です。

相手との良い関係づくりや、話す側のストレスの解消にも繋がり、家庭や職場、地域でも幅広く活かすことが出来ます。

養成講座では二人一組となり、聞き役と話し役とに分かれて6分



二人一組で傾聴のロールプレイ



グループワークで楽しく意見交換

から7分程度の傾聴の演習が交互に行われ、和やかな雰囲気の中、受講者全員が傾聴の手法と傾聴されることの良さを体験しました。受講者の方からは、「研修を通して、話を聴くときの自分の姿勢や態度が相手にどのような印象を与えているのかがよく解った」や「傾聴してもらえると、もっと話したい、もっと聞いてもらいたいという気持ちになった」と話されていました。この傾聴ボランティア養成講座を通じて、今後「心」に寄り添うボランティアの方が地域で活躍されることを期待しています。